

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



新型コロナウイルス感染拡大防止の中、地域で広がる支え合いの輪

新型コロナウイルスの感染拡大により、人と人とが接触する機会を減らすことが求められ、ボランティア活動や住民活動は制限され、力を発揮しにくい状況にあります。このような状況下、できる範囲での支え合い活動が行われています。

手作りマスクを配りました！



個人でも、家でできることで何かできればと思い、得意な裁縫を活かしてマスクづくりを始めました。徐々に賛同してくれる仲間も増え、公民館やご近所の方、町内の福祉施設に寄付することができました。



田富町内会の女性役員有志で、何か皆様のお役に立てることはないかと考え、約300枚マスクを作りました。4月18日（土）と25日（土）に公民館の駐車場で町内会会員に配布しました。一人暮らし高齢者宅にも届けています。

マスクを使われている方から「数回洗って使っています。ありがとうございました。」「おしゃれで素敵なので、妻が気に入って使っています。」「すごく助かりました。」との声が届いています。

こんな形で見守り活動を行いました！

住民の方から町内会にマスクを寄付いただきました。そこで、福祉部が一人暮らし高齢者にマスクをお渡しし、その際にお体の状況や安否も確認しました。

「あと1枚だったので助かった。病院に行く時も安心。」と喜んでもらえました。



町内で福祉推進委員をしており、買い物に行く時などには、近所の一人暮らし高齢者宅に電気がついているか、洗濯物が干されているかなどを確認していました。



皆さんの周りでも行われている地域の支え合い活動をぜひお知らせください。



また、このような状況下にあっても、住民同士の“つながり”を継続するための活動方法や工夫、懸命な取り組みが全国各地で新たに生まれています。

令和2年5月には、WEB等を活用し、感染防止策を講じながら活動する方法や工夫を集め、情報発信すると共に、活動者間の交流を図り、全国の実践を後押しすることを目的に、全国のボランティア・市民活動、地域福祉関係者による「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」がスタートしました。その取り組み事例もご紹介します。



■取り組みの例

ひとり暮らし高齢者等に「つながりニュースレター」を配布し、家でできる体操等の情報を掲載。往復はがきを同封し、近況を知らせてもらう。

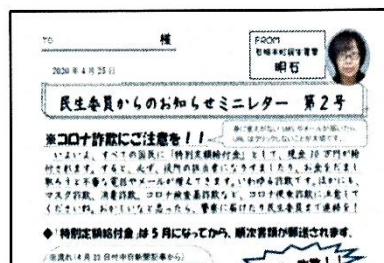
(大阪府・
阪南市社協)



生活が苦しい子育て世帯に、農家や企業から寄せられた食材を戸別配達。スマートフォンから簡単に申し込むことができ、利用者とはLINEで継続的にやりとり。(宮崎県・三股町社協)



民生委員が、地区内のひとり暮らし高齢者宅に、訪問の代わりに電話で安否確認。外出制限のなかでの工夫した暮らしを教えてもらったり、顔が見えなくても声のトーンでその人の暮らしを推し量っている。ミニレターも作成し、詐欺被害への注意を呼び掛けている。(名古屋市・民生委員)



詳細は「全国アクション」ホームページ <https://www.tunagari-action.jp> (5月下旬公開予定) をご覧ください。

生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL：092-937-3011